

大阪市立図書館 コロナ禍の取り組み -その1- コロナ禍だから できたこと

祝！図書館レファレンス大賞
図書館振興財団賞受賞！！



新型コロナウイルス感染症関連のレファレンス事例を公開しました。デジタルアーカイブを使ったプロジェクトにも参加しました。

COVID-19関連のレファレンス事例を公開

「アマビエ」「パンデミック」「クラスター」など COVID-19に関するレファレンス事例をレファレンス協同データベースに登録しています。



電子図書館機能の周知

電子書籍やデジタルアーカイブなど、自宅からアクセス可能な電子図書館機能の周知を行いました。

アクセス数増！

	2019年度		2020年度	
	合計	1月平均	合計(9月まで)	1月平均
電子書籍 EBSCO eBooks	42,543	3,545	59,393	9,899
電子書籍 by Rakuten OverDrive (※1)	3,805	317	1,816	908
デジタルアーカイブ(※2)	206,543	17,212	149,309	24,885
ナクソス・ミュージック・ライブラリー	33,729	2,810	18,691	3,115

(※1) 2020年度は利用期限2020年5月31日までのアクセス件数
(※2) 2020年1月にバージョンアップ。2020年1月～3月は、68,284件(平均22,761件)

キテンプロジェクトへの参加

大阪市立中央図書館では、デジタルアーカイブのバーチャル展示で紹介している大阪の近代建築に関する資料から、ソーシャルディスタンスのためのサインを作成し、8月1日から設置しています。

キテンプロジェクトとは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）とともに生きる社会において発生したソーシャルディスタンスのための空間を、“人との接触を拒絶するため”の空間ではなく、“文化的・人間的な活動を創造するため”に活用することを目的に、合同会社AMANE（代表：堀井洋氏）とroot design office（代表：原嶋亮輔氏）を中心に実施するプロジェクトです。



ここにもオープンデータ画像を使って大阪らしい洒落を利かせた言葉で、ソーシャルディスタンスのお願いをしています。

